

自分の住んでいる まちを知ろう！

海と山にはさまれた大分市

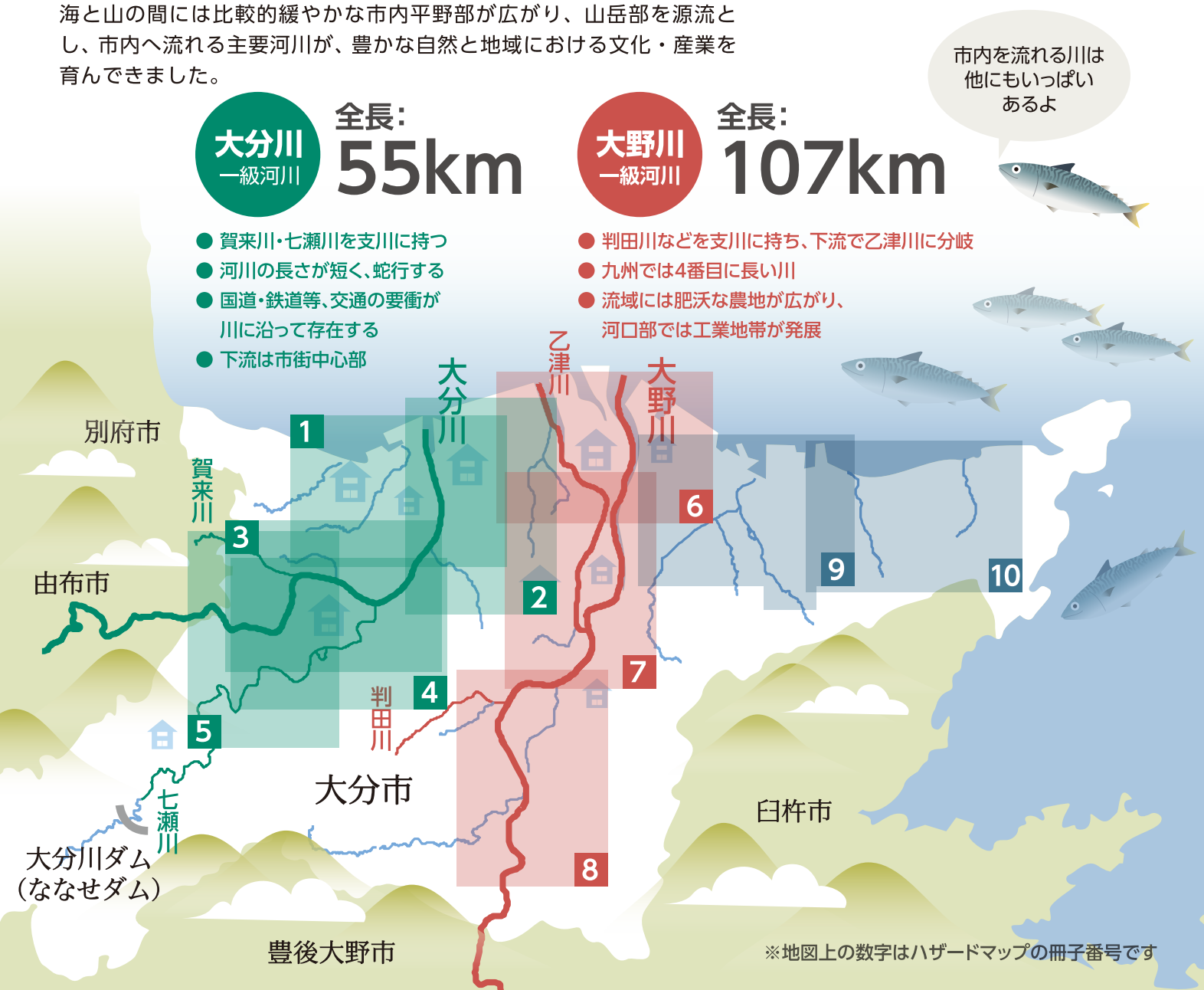
大分市は、北に別府湾と東に豊後水道など海を有し、内陸では北西の鶴見岳から高崎山に連なる高崎山大起伏火山地、南部に大野山地や東部の佐賀関山地に囲まれた台地や丘陵の多い平野部が広がっています。

台風の通り道なの？

気候は瀬戸内海式気候で、年間を通して温暖な地域ですが、夏から秋にかけて台風の通り道になることが多い。台風は南から北上し、大分県の東側を通過すると大雨になることが多く、豪雨の影響で大量の雨水が主要河川に流れこみ、流域ではこれまで幾度となく洪水をくり返し、大きな水害をもたらしてきました。

2つの大きな川が育んだ…

海と山の間には比較的緩やかな市内平野部が広がり、山岳部を源流とし、市内へ流れる主要河川が、豊かな自然と地域における文化・産業を育んできました。



九州北部をおそった災害のつめあと

⚠️ 平成29年7月九州北部豪雨による災害

平成29年7月5日からの梅雨前線による大雨によって、九州北部を中心に記録的な大雨にみまわれ、福岡県と大分県では河川の氾濫や土砂災害による甚大な被害が発生しました。24時間の最大雨量は、福岡県朝倉市で545.5mm、大分県日田市で370.0mmとなるなど、九州北部地方では350mmをこえる記録的な大雨となりました。

大分県内の被害

土砂災害発生箇所	45箇所
人的被害	死者 3人
住家被害	全壊棟数 48棟
	半壊棟数 269棟

※住家被害は水害での被害も含む
出典:大分県「平成29年7月豪雨災害による被害等について」



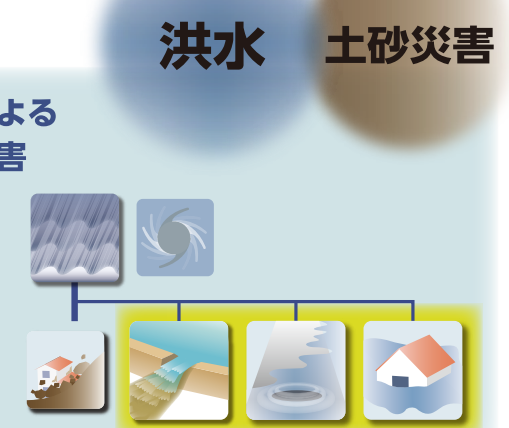
災害への心がまえ

大雨により想定される災害は？

大分市で、人命や家屋などの財産、農産物などに大きな影響をおよぼす災害としては、集中豪雨や台風などによる「洪水」や「土砂災害」が想定されます。2つの一級河川が流れる広大な平野では市街地化も進んでおり、特に浸水に対する注意が必要です。また、上流域の雨が時間をかけて下流へ流れてくるため、水位が急上昇する可能性もあり、注意が必要です。

集中豪雨や台風などによる「大雨」で想定される災害

山沿いでの土砂災害、また、小河川や水路から水があふれたり(内水氾濫)、河川やため池の堤防の決壊による洪水の発生が予測されます。



ハザードマップを確認しよう！

うら面のハザードマップを見て、自分や大切な人の居場所の安全度を確認しておきましょう！



大分市では、洪水のほかに、土砂災害、津波・地震、ため池ハザードマップを作成済みです。
<http://www.city.oita.oita.jp/kurashi/anshinanzen/kikikanri/kanrenmap/hazardmap/index.html>

「わが家の防災マニュアル」
<http://www.city.oita.oita.jp/o009/kurashi/volunteer/1366191989138.html>



防災情報をリアルに可視化! スマートフォン専用防災ツール「おおいた洪水ハザードアプリ」サービス開始。

災害シミュレーション結果とGPS機能を連動させ、スマートフォン内蔵カメラで撮影された実写の映像に、現在地の防災情報を合成・表示することができるアプリです。
くわしくは、ウェブサイトをご覧ください。

